



みみ 耳が、二つあるのはなぜ

にんげん い もの みみ 人間など、生き物に耳があるのは

みみ 耳が二つあるのは、おと 音のしている ほうこう 方向を、ただ し 正しく知ることができるからです。

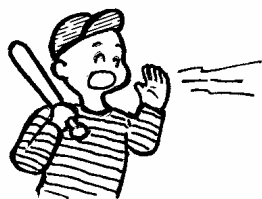
みみ 耳は、あたま 頭の りょうがわ 両側にはなれてついてます。そのため、さゆう おと おお 左右で音の大きさがちがって聞こえ、おと 音が、どちらのほうこう 方向からきたかを、たし 確かめることができるのです。

にんげん い もの みみ 人間など、生き物に耳があるのは

わたしたちは、みち ある 道を歩いているとき、む 向こうから じどうしゃ 自動車や じてんしゃ 自転車などが走ってくると、それを目で確かめ、さけることができます。また、みち まがりの 曲がり角などで、みえない ほうこう 方向から じどうしゃ 自動車や じてんしゃ 自転車などが走ってきても、おと 音でそれを知り、さけることができます。

このように、わたしたちは、め もの み 目で物を見たり、みみ おと き 耳で音を聞いたりして、じぶん まわりで起こっているできごとや、ようすを知ることができ、はんだん 判断して、ただ 正しい こうどう 行動をすることができるのです。そして、め みみ 目や耳などの感覚器は、わたしたち人間だけでなく、生き物が生きていくうえで、なくてはならない、たいせつ じょうほう 大切な 情報を集めるための 器官なのです。

とくに、みみ ちようかくき 耳(聴覚器)は、め み 目では見えない、とおく はなれたところでおこっていることも、おと 音で知ることができ、しかも、ほうかく 方角やきよりまで 判断できるのです。(監修・保志 宏)



耳は、頭の両側にはなれてついてるので、音がどちらの方向からきたかがわかる

